

米国イラン対立激化 ～中東と米国の視点～



東 大作 教授

■講師：東 大作 教授

(上智大学グローバル教育センター、国際関係研究所所員)

2020年1月20日に、「内戦と和平—現代戦争をどう終わらせるか」(中公新書)を出版。
(<https://www.amazon.co.jp/内戦と和平-現代戦争をどう終わらせるか-中公新書-東-大作/dp/4121025768>)

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学で博士号(国際関係論)。イラク、シリア、アフガニスタン、イエメン、南スーダン等の現地調査を基に書かれた本書を踏まえ、イランと米国の対立の背景にある、中東地域の対立構造を解説。日本として何が出来るかについても提言します。主な著作に『平和構築』(岩波新書)、『人間の安全保障と平和構築』(日本評論社)、『我々はなぜ戦争をしたのか ベトナム・米国敵との対話』(平凡社ライブラリー)、『Challenges of Constructing Legitimacy in Peacebuilding』(Routledge) 等。



前嶋 和弘 教授

■講師：前嶋 和弘 教授

(上智大学総合グローバル学部、国際関係研究所副所長)

米国政治を専門とし、テレビやマスコミでもお馴染みの前嶋和弘教授が、米国トランプ政権がイランに圧力をかけ続ける背景や、今後の見通しについて、鋭く分析します。メリーランド大学大学院政治学部博士課程修了。主な著作に『アメリカ政治とメディア：政治のインフラから政治の主役になるマスメディア』(北樹出版)、『インターネットが変える選挙：米韓比較と日本の展望』(慶応義塾大学出版会)、『オバマ政権と過渡期のアメリカ社会』(東信堂)等。米国政治や国際関係論についての論文多数。



安野 正士 教授

■モデレーター：安野 正士 教授

(上智大学国際教養学部、国際関係研究所所長)

国際政治を専門とし、国際関係研究所所長を務める安野正士教授が、本シンポジウムの総合司会を務めます。アメリカ合衆国・カリフォルニア大学バークレー校政治学科で博士号。主な著作に“National Identity and Great-Power Status in Russia and Japan: Non-Western Challengers to the Liberal International Order”(Routledge)、『ロシアと日本—自己意識の歴史を比較する』(東京大学出版会)、『アジアに接近するロシア—その実態と意味』(北海道大学出版会)等。国際関係論についての論文多数。

■日 時： 2020年1月28日(火) 18:30～20:00

■会 場： 上智大学四谷キャンパス
2号館17階 国際会議場

■要事前申込み：下記のQRコードまたはURLよりお申込み下さい。



<https://jp.surveymonkey.com/r/siir20200128>

Find us on FB !

